

# 信州メディカル産業振興会特別セミナー

■2018年11月2日(金) 18:00~21:10 『イノベーション推進法「科学技術政策」』 旭総合研究棟講義室C

**佐藤 靖** 新潟大学 教授

申込締切日:10月26日(金)

- ・科学技術庁(現文部科学省)で宇宙開発、原子力安全、研究費制度の設計などの行政事務を担当
- ・元政策研究大学院大学助教授・元科学技術振興機構研究戦略センターフェロー
- ・著書:『NASA-宇宙開発の60年』『科学的助言-21世紀の科学技術と政策形成』

近年、イノベーションの推進は世界各国の政府の重要課題となっている。本講義では、米国及び日本を中心に、第2次世界大戦以降これまで科学技術政策がどのように進展してきたかを振り返りつつ、科学技術イノベーション政策の全体構造とその主要な論点を概観する。

■2018年11月9日(金) 18:00~21:10 『イノベーション推進法「外部発信手法」』 旭総合研究棟講義室C

**詫摩 雅子** 日本科学未来館・サイエンスライター

申込締切日:11月2日(金)

- ・新聞記者、科学雑誌の編集者を経て、日本科学未来館の科学コミュニケーターに
- ・現在は、フリーのサイエンスライターとしても活躍

すばらしい研究成果が得られても、誰も知らなければ評価もされません。一方で、皆が応援してくれるようになればチームのやる気も上がります。適切な広報をすれば、一般市民の方々の興味と関心、さらには共感を得ることも可能になるでしょう。広報にはさまざまな媒体を介するものがあり、媒体ごとに特徴や問題点があります。この回は「味方を得る広報」と題して、コツをお伝えします。

■2018年11月30日(金) 18:00~21:10 『イノベーション概論』 旭総合研究棟講義室C

**金子 浩明** グロービス経営大学院・シニア・ファカルティ・ディレクター

申込締切日:11月22日(木)

- ・大学院教員、教員育成、カリキュラム開発・企業の新規事業立案、事業課題解決、研究開発マネジメントなどの支援・政府機関の委員、アドバイザー

新規性や独自性がある研究や技術開発の成果を製品やサービスに導入したとしても、それが市場での成功につながるとは限りません。逆に、技術的な独自性や新規性が乏しくても、市場で成功する製品やサービスがあります。その違いはどこにあるのでしょうか。本講義では、研究開発を市場での事業的な成功に結びつけるために必要な考え方を学びます。

■2018年12月7日(金) 18:00~21:10 『イノベーション事例特論①』 理学部A棟 多目的ホール

**石見 陽** メドピア株式会社 代表取締役社長CEO

申込締切日:11月30日(金)

- ・日本の医師の3人に1人が参加する医師専用コミュニティサイト「Next Doctors(現MedPeer)」を開発
- ・現役の医師としても勤務・1999年 信州大学医学部卒業

本講の前半では、現役医師兼起業家として日本で唯一東証マザーズに上場している石見(信州大学医学部卒業)が、自分自身の置かれた社会環境、臨床経験から実際の起業、上場へと至る過程で学んだことを共有します。後半では、事例から得た各人の着想をもとに、グループワーク形式で明日へ繋がる「イノベーションの産み出し方」を探ります。

■2018年12月14日(金) 18:00~21:10 『イノベーション事例特論②』 旭総合研究棟講義室C

**池野 文昭** スタンフォード大学 主任研究員・信州大学・特任教授

申込締切日:12月7日(金)

- ・ベンチャーキャピタル“MedVenture Partners” 取締役チーフメディカルオフィサー
- ・200社を超える米国医療機器ベンチャーの研究開発、臨床試験などに関与

Innovation = Invention x Implementation

MedTech Invention = Unmet Need x Solutions

Drug Invention = Discovery x Unmet Needs

Creativity is Thinking up new things. Innovation is Doing new things ( By Theodor Levitt )

これらの言葉が示すように、イノベーションは新たな価値を生んで、それを持って社会を変えていくことと定義される。それでは、どのように新たな価値を見つけ、どのように社会を変えていくのか? その答えの1つが、デザイン思考という考え方である。特に、医療機器に特化してデザイン思考的な開発スタイルであるスタンフォードバイオデザイン講座は、その1つの手法である。

短い時間であるが、このバイオデザイン的発想の初歩を解説する。

## 申込方法

■件名『イノベーションセミナー申込』

■メール本文:①講座名・日付 ②企業名(機関名) ③所属・役職 ④氏名  
をご記入の上、E-mail: [smia@shinshu-u.ac.jp](mailto:smia@shinshu-u.ac.jp) 宛に各回の申込締切日までに  
お申込みください。

## お問合せ先

信州大学 先鋭領域融合研究群  
バイオメディカル研究所  
担当:清水 則子  
〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号  
TEL:0263-37-3548 FAX:0263-37-3549  
E-mail: [biomedical@shinshu-u.ac.jp](mailto:biomedical@shinshu-u.ac.jp)

## 申込先

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構  
(信州メディカル産業振興会 事務局)  
担当:網本、足助  
TEL:0263-37-3421  
E-mail: [smia@shinshu-u.ac.jp](mailto:smia@shinshu-u.ac.jp)

## アクセス

旭総合研究棟:正門入って正面(裏面地図参照)  
理学部A棟:正門入って左手  
詳細については信州大学ホームページ内のキャンパスマップにてご確認ください  
(右記URL参照) <http://www.shinshuu.ac.jp/guidance/maps/map05.html#campus>

## 会場詳細

■JR松本駅「お城口(東口)」を出て右前方、  
アルピコ バス「松本バスターミナル」のりば1  
「信大横田循環線」、または「浅間線」に乗車し  
約15分、バス停「信州大学 前」で下車して  
道路向かいに大学正門があります。  
人文学部・経法学部・全学教育機構・附属図  
書館へは、次のバス停「大学西門」下車が便  
利です。  
(どちらも200円)

【駐車場のご利用について】

■信州大学医学部附属病院外来駐車場をご  
利用いただけますが、大変混雑いたします。  
できるだけ公共交通機関をご利用ください  
(無料駐車券は発行いたしません)。



※本セミナーは「信州大学大学院 総合理工学系研究科 生命医工学専攻」講義の一般公開です。  
そのため、学生の聴講が優先となりますことご了承ください。